

各事業報告

1. ボランティアの人材育成とその担保に関する事業

(1)学内ボランティア団体の育成支援

センターでは個人のボランティア相談のほか、団体の活動相談にも応じている。活動に関するアドバイスや役立つ情報の提供に限らず、必要に応じてファシリテーターとして団体の会議に向かうこともしている。年々、ボラセンの認知度が高まり、学生団体の相談が漸増している。

主な相談内容：

- ・組織運営に関すること
- ・メンバー間のコミュニケーションに関すること
- ・新入生のまきこみ方
- ・メンバーのモチベーションアップを図りたい
- ・広報に関すること
- ・団体立ち上げについて など

(2)学生サポートメンバー養成講座第3期

2012年度より学生と共に作る、育つセンターを目指し、「聖学院大学のボランティア活動をセンターとともに盛り上げる」学生コーディネーター養成を目的とした講座を実施している。また、昨年度好評だったスキルアップを図る特別編では、外部講師を招き、一日研修を実施した。当日は各回のアイスブレイクや進行フォローとして、2期生がファシリテーターを務めた。

i)企画概要

①『学生サポートメンバーの役割と可能性』

なぜ学生サポートメンバー（サポメン!）が必要なのか、また、サポメンの役割とはどういうものなのか、ボラセンスタッフからの願いと役割について説明したあと、現役のサポメンから活動の意義ややりがいについて語ってもらった。後半は、「ボランティアの一步が踏み出せない理由」をグループごとに出し合い、対応策を考えることでサポメンとしてどんな関わりの可能性があるのかを模索した。途中の自己紹介とアイスブレイクは昨年講座を修了した2期生が担当し、これから共に学ぶ仲間同士交流を深めた。

日 時： 2014年6月2日（月）18：00－21：00

参加者： 3期生9名、2期生5名

- 内 容：
- ・ボランティア活動支援センターの役割（願い・役割）
 - ・学生サポートメンバー（サポメン）の役割とやりがい：現役サポメン
 - ・参加者同士の自己紹介&アイスブレイク
 - ・ボランティアの一步を踏み出せない理由（ワーク①）
 - ・対応策を考え、発表（ワーク②）



②『改めてボランティアについて考える』

「ボランティア」は、人によって様々なイメージがある。学生スタッフとして、どのようなボランティア観を持つのか。また、どのようにボランティアを紹介していくのか……。改めて「ボランティア」について考える機会を持つと共に、多様な価値観を知り、実際に学生コーディネーター役を演じることで学びを深めた。

日 時：2014年6月9日（月）18:00-21:00

参加者：3期生9名、2期生4名

内 容：・自己紹介

- ・ボランティアを一言でたとえると（ワーク①）
- ・LOVE ボランティア VS アンチボランティア（ワーク②：ディベート）
- ・ボランティアコーディネーターのロールプレイ（ワーク③）



③『学生ボランティアとボランティアネットワークの可能性と広がり』

ボランティアセンターは、多くの人をつなぐ役割を担っている。個人や一つの団体ではできないことでも、みんなの力を合わせれば、できることは沢山あるはず！・・・ということで、今回は、学内外のボランティア団体で活躍中の学生スタッフに活動報告をして頂き、お互いの活動を知るとともに、相互連携の可能性について考えるワークを実施した。

日 時：2014年6月16日（月）18:00-21:00

参加者：3期生10名、2期生5名、ゲスト2名

内 容：・アイスブレイク（共通点探しゲーム）

- ・各団体による活動報告
 - 聖学院大学復興支援ボランティアチーム【SAVE】
 - 日本薬科大学ボランティア研究会
 - 紙ひこうき
 - 埼玉県学生献血推進連盟
 - 埼玉学生ボランティアネットワーク～わかたま～
- ・“つながる” ワーク実施

④『大学周辺のボランティア活動を知る』

この回では、大学周辺の社会福祉協議会のボランティア担当者と、サポメン1期で今春、都内の社協に就職した卒業生を招き、大学周辺のボランティアニーズや、地域課題について学んだ。

日 時：2014年6月23日（月）18:00-21:00

参加者：3期生9名、他6名

内 容：・活動（地域）紹介

- さいたま市社会福祉協議会、上尾市社会福祉協議会、サポメン1期生（OB）
- ・ゲストスピーカーを囲んで意見交換会



⑤『学生サポートメンバーとしてできること、やりたいこと』

これまで学んできたことを踏まえ、「ボラセン・サポメンに期待されていること」「サポメンとしてボランティアを広める上で課題だと思うこと」「サポメンとしてできること・やりたいこと」をテーマに、3つのワークに挑戦した。1ワークに一人ずつ進行役の学生を立て、全員で協力しながらアイデアを出し合った。

日 時：2014年6月30日（月）18:00-21:00

参加者：3期生8名

内 容：・講座内容の振り返り

- ・3つのニーズ（社会が求めること、自分のできること、自分のやりたいこと）
- ・「ボラセン・サポメンに期待されていること」（ワーク①）
- ・「サポメンとしてボランティアを広める上で課題だと思うこと」（ワーク②）
- ・「サポメンとしてやりたいこと、できること」（ワーク③）

⑥特別編 - 『みんなの想いを引き出す力&企画を立てる力をつける』

特別編は、サポメン養成講座受講者の他、学友会の学生や他大学の学生も交えて開催した。学生サポートメンバーや、各種部活動・委員会などでリーダーを務める学生にとって必要なスキルを学びあった。

日 時：2014年7月12日（土）10:00-16:00

参加者：18名

講 師：市民社会パートナーズ 代表 庄嶋孝広氏

- 内 容：・多くの人の声を聴き、まとめていく力
- ・みんなの想いを一つにして企画をつくり、実現していく力
 - ・広報力、発信力
 - ・平等に会議を進行する力



ii)成果と課題

講座内のアイスブレイクを2期生に依頼したことで、講座期間中に期を超えた交流が深まった。

特別編には総務委員会やヴェリタス祭実行委員の学生らも参加し、具体的な課題をもとに、ワークをすすめることができ、大変有意義な講座となった。

※「学生サポートメンバー養成講座実施レポート」は資料編 p67に掲載